

平成30年度 寝屋川高等学校定時制の課程 学校評価アンケート（教職員用）の結果

(A) 肯定的回答 (B) 否定的回答

(授業関係)

1	授業の指導方法、内容、評価について、教科内や他教科と協議している。	(A) 76%	(B) 24%
2	生徒の一人ひとりにあつた指導方法をとっている。	(A) 93%	(B) 7%
3	環境・国際理解・ボランティア活動などに取組む機会を設けている。	(A) 52%	(B) 48%
4	授業で使う教材が整っている。	(A) 38%	(B) 62%
5	I C Tを導入した授業を行っている。	(A) 86%	(B) 14%
6	授業中、生徒が落ち着いて学習できる環境を作るよう配慮している。	(A) 97%	(B) 3%
7	ホームルームは、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	(A) 97%	(B) 3%

(生徒指導関係)

8	問題行動の防止の取組みや問題行動が起きた場合、組織的に対応できる体制が整っている。	(A) 93%	(B) 7%
9	教育相談体制が整っている。	(A) 93%	(B) 7%
10	生徒指導において、家庭や関係諸機関と緊密な連携ができています。	(A) 97%	(B) 3%

(生徒会関係)

11	学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。	(A) 86%	(B) 14%
12	生徒会活動では、生徒が主体的に活動している。	(A) 55%	(B) 45%
13	生徒の達成感を考え、効率的な部活動の運営に努めている。	(A) 66%	(B) 34%

(進路関係)

14 生徒の興味・関心、希望に応じた進路選択が可能となるような情報を提供している。	(A) 83% (B) 17%
15 外部人材、企業、専修学校等と連携し、生徒の勤労観や職業観が育まれるような機会を設けている。	(A) 90% (B) 10%

(人権教育関係)

16 教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会を設けている。	(A) 66% (B) 34%
17 人権尊重の理念に沿った教育に取り組んでいる。	(A) 86% (B) 14%

(職場環境関係)

18 校内の施設・設備・備品等は、仕事が効率的に行うことができるように整備されている。	(A) 28% (B) 72%
19 時間外労働の縮減に努めている。	(A) 72% (B) 28%

(学校運営関係)

20 学校の様子や教育活動に必要な情報について、保護者への周知に努めている。	(A) 89% (B) 11%
21 中学校と連携をとっている。	(A) 86% (B) 14%
22 准校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	(A) 79% (B) 21%
23 学校運営に、准校長のリーダーシップが発揮されている。	(A) 86% (B) 14%
24 各分掌や各学年間の協力が円滑に行われ、有機的に機能している。	(A) 90% (B) 10%
25 職員会議をはじめ各種会議が、情報交換等に有効に機能している。	(A) 79% (B) 21%
26 教職員間において、情報を共有し、共通理解を図って、仕事に取り組んでいる。	(A) 86% (B) 14%
27 教職員研修において、研修で得た知識等が、日々の仕事に役立っている。	(A) 69% (B) 31%
28 学校評価アンケートの結果の分析に基づいた取組みを、学校全体で行っている。	(A) 66% (B) 34%
29 効率的な仕事の仕方を意識し、働き方改革を行っている。	(A) 72% (B) 28%
30 教職員は、法令、条例、規則を遵守して、業務を行っている。	(A) 93% (B) 7%